

課題分析標準項目

基本情報に関する項目

No	標準項目名	基本情報
1	受付年月	令和 7 年 5 月 20 日
	受付対応者	居宅 介護支援専門員
	受付方法	電話
	氏名・性別・年齢・住所・電話番号	〇 氏・男、75歳 平戸市・〇〇〇—〇〇〇〇—〇〇〇〇
	家族状況	妻 E (76 歳)と二人暮らし。 妻は、社交的ではなく、家にいることが多い。 長女はスーパーで働いており孫(G、男 20 歳)は専門学校生で 〇 氏とよく話し、昔からおじいちゃん子であった。 次女は、他県で夫の両親の介護をしており、年 1 度来訪する程度である。 仲のよい妹 C は隣県に在住している。時々、妹家族の家に泊まりに行っていたが、1 か月前妹が他界した。
2	これまでの生活と現在の状況	平戸市で生まれ、育った。大学を卒業後、教員(中学校教師)として定年まで働く。現役時は生活指導の担当で、本人いわく「厳しい教員だった」とのこと。妻とは職場結婚し、二女をもうける。隣町に長女が住んでおり、毎日のように専門学校に通っている孫が本人宅を訪れている。〇氏は孫の訪問とおしゃべりを楽しみにしている。 2 年前頃までは、時々長女宅を訪れることもあったが、現在は道を間違えるため、出かける回数がかなり減った。 退職後、非常勤講師でしばらく中学校に出向き、また毎週スポーツジムに通う。町内会の行事にも積極的に参加していたが、70歳頃より日時を間違えたりし、町内会のほかの役員から指摘があり、長女 F の勧めで受診。認知症発症後、外出や会合の準備に時間がかかるようになり退会した。長女は、認知症の親をもつスーパーの同僚からいろいろと教えてもらい、自分でも調べ、B 病院の医師と話し、認知症専門 D 病院受診となった。 令和元年、D 病院を受診し、アルツハイマー型認知症と診断を受け、以降 3 ～4 か月に 1 回受診している。B 病院脳神経外科で月 1 回フォローしていたが、今年に入り急激にもの忘れが進んでいる。 今年の初め令和 7 年 4 月、〇氏の妹 C の状態が悪化したとの連絡を受けて、他県の妹 C 宅に妻と共に 1 週間ほど滞在。その間、つじつまが合わないことが頻発。夜中、急に帰るなどと言い出し、妹の娘夫婦を困らせることも。妹が他界してから、夜間に 2 ～ 3 回程度起きるなど、認知症の悪化が懸念され、孫が迎えに来て、妻とともに帰宅した。落ち着いたようにみえたが、夜中にトイレで尻もちをつき、失禁。何度も夜中に起こされていた妻は、おむつを履かせ、安静にさせた。2 ～ 3 日は普通に生活していたようだったが、徐々に痛みが悪化し、妹の葬儀を終えて帰ってきた長女に連絡。5 月 13 日 に受診し、腰圧迫骨折と診断。日常生活もままならず、痛みが軽減するまで、入院となる。
3	利用者の社会保	1 割負担

	障制度の利用情報	医療情報:後期高齢者医療保険 障害手帳なし生活保護なし 公的年金 月 20 万
4	現在利用している支援や社会資源の状況	特になし
5	日常生活自立度(障害)	J2
6	日常生活自立度(認知症)	II b
7	主訴・意向	【相談内容】 B 病院(脳神経外科)の医療相談室の社会福祉士より、今回の入院の情報提供があり。介護保険要介護認定は申請済み。痛みはよくなっているが、夜間せん妄が出て、これ以上の入院は、O氏にとってはあまり好ましくないため、退院を進めている。 【本人・家族の要望】 O氏:早く家に帰って、元のような生活がしたい。このまま入院しては、もっともの忘れがひどくなる。 妻:妹のこともショックだったようだが、入院してから急にヨタヨタになった。ゴールデンウィークは孫との庭の剪定を楽しみにしていたのに こんなことになってしまった。このまま悪くなってしまうのではないかと心配である。施設は考えたくないし、何とか家で過ごさせたい。この状態でつきっきりでいては、私もどんどん具合が悪くなる。世話がいつまでできるか自信がない。 長女 :サービスを利用して、以前のように明るくなってこれで安心と思っていたところなのに こんなことになってしまった。このまま、もの忘れが悪化してしまうのではないかと心配である。
8	認定情報	認定日 令和 7 年 5 月 24 日 認定の期間令和 7 年 6 月 1 日～令和 8 年 5 月 31 日 要介護 2
9	今回のアセスメントの理由	居宅サービス計画更新作成 在宅生活継続アセスメント

アセスメントに関する項目

No	標準項目名	基本情報
10	健康状態	疾患名膝関節炎、アルツハイマー型認知症 身長・体重. 160 cm 55kg BMI : 21.5 適正体重(56.3kg) 血圧 110-120 /70-80mmHg 服薬:鎮痛鎮静剤(食後 3 回)、認知症治療薬(ドネベジル 10mg) (朝食後 1 回)、胃保護剤(食後 3 回)、漢方薬(朝、夕)、入眠導入剤(夕食後 1 回)。
11	ADL	・寝返り: 自立。 ・起き上がり: 自立(一時は介助が必要だったが、痛み軽減し一人で可) ・移乗: 自立。 ・歩行: 自立も、ふらつきあり 妻:いつもよりヨタヨタ歩いている。 ・排尿・排便: トイレ洋式 入院中はコールにて見守り 行為介助。 ・更衣: 入院中は介助も退院時は自立。